【管理運営状況公表様式】

令和6年度 県民福祉プラザの管理運営状況

県所管課	健康医療福祉部健康医療福祉政策課		
指定管理者	社会福祉法人 青森県すこやか福祉事業団		
	理事長 須藤 和彦		
指定期間	令和6年4月1日~令和9年3月31日		

1 管理業務の実施状況

業務区分	概 要
施設の使用許可に関す	青森県県民福祉プラザ条例及び青森県県民福祉プラザ規則並び
る業務	に県民福祉プラザ管理規程に基づき、適切な使用承認、使用料徴収
	及び県への実績報告を行い、使用料を納付している。
施設の維持に関する業	清掃、警備等の維持管理の業務について再委託し、再委託にあた
務	っては、競争入札等により受託業者を決定するとともに、当事業団
	内には他にも社会福祉施設があることから、当事業団のスケール
	メリットを活かし一括競争入札等により受託業者を決定し、経費
	節減に努めながら維持管理業務を適正に行っている。

2 管理施設の利用状況

利用指標	年 度	計画	実 績	計画対比	前年度対比
有料研修室利用 者数(人)	R 3	20,000	13, 810	69.1%	33.4%
	R 4	100,000	46, 782	46.8%	338.8%
	R 5	100,000	63, 736	63.7%	136. 2%
	R 6	70,000	68, 191	97.4%	107.0%
有料研修室利用 件数(件)	R 3	1, 100	702	63.8%	30.9%
	R 4	3,000	2, 617	87.2%	372.8%
	R 5	3,000	3, 098	103.3%	118.4%
	R 6	3,000	3, 048	101.6%	98.4%

【増減理由】

利用者数は前年度比 107.0% (4,455人) 増、利用件数は 98.4% (50件) 減であり、いずれも計画目標を上回っている。

会議室の予約については、令和元年度に施設予約システムを導入し、Web 上で 24 時間予約可能な体制づくりを構築したことで空き状況がすぐに分かるようになり、利便性の向上につながっている。また、予約方法とシステムの改修を行い、本来必要としている利用者が申込めることができるシステムを整備したことで、貸館利用率の向上につながった。

施設は竣工から26年が経過していることから今後大規模改修を行う予定であり、利用者が安心して福祉の増進の場として利用できるよう環境の整備を図っていくものである。

3 評価結果

	指定管理	県所管課	
評価項目	者自己評 価	評価	コメント
①サービスの維持・向上に 向けた取組みが適切に行 われているか。	4	4	職員同士で接客対応についての振り返りを 行うとともに、利用者の意見や苦情を把握する 体制を構築し、利用者の意見等を運営等に反映 している。また、Wi-Fi の整備やインターネッ ト予約システムの導入など、サービスの維持・ 向上に向けた取組がなされている。
②利用促進に向けた取組みが適切に行われているか。	4	4	ホームページやパンフレットの活用に加え、 法人が所管する機関誌へ利用案内を掲載する など、様々な世代や環境におかれた方でも等し く情報を得ることができるよう工夫している。 また、SNSでの情報発信や、コンベンション 協会の活用等により、施設を利用したことがな い層への利用に向けた周知を行っている。
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に 行われているか。	4	4	委託業者とも連携し、施設の整備や維持管理 を行っている。また、モニターによる監視・録 画体制のほか、利用者が安心して利用できるよ う I Pカメラを導入している。
④緊急時の対応・安全管理 などの危機管理が適切に 行われているか。	4	4	県民福祉プラザの入居団体で構成された自 衛消防組織を設置し、マニュアルを整備すると もに、入居団体と合同で訓練を行うなど、災害 発生時の対応体制の更なる充実を図っている。
⑤指定管理料が適正に執行 されているか。	4	4	施設の管理運営に必要な経費を適正に執行しており、そのうえで、経営上の工夫や、利用者・入居団体も含めた光熱水費の節約により経費節減に努めている。
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか。	4	4	施設予約システムの導入による予約方法の 見直しや、新たな利用形態に対応するため全研 修室に Wi-Fi 環境の整備を行うなど、積極的に 利用機会の確保に努め、計画目標を達成してい る。
⑦その他法令等を遵守した 管理運営が行われている か。	4	4	「個人情報保護のガイドライン」に基づき業務に当たっているほか、法人内研修において個人情報の不正な取扱いや漏えいの防止について学んでいる。 また、労働法令も遵守されている。
総合評価	4	4	利用者数の計画目標達成のため、積極的に利用促進に向けた取組を行っているほか、利用者の活動充実のため、環境の整備を図っている。また、経費削減に努めながら管理運営が適正に実施されている。

○評価基準

5 (秀):業務水準書等の内容を上回り、特筆すべき実績をあげている。

4 (優):業務水準書等の内容を上回り、優れた実績をあげている。

3 (良):業務水準書等の内容が満たされている。

2 (可):業務水準書等の内容が満たされず、一部改善を要する。

1 (不可):業務水準書等の内容が満たされず、重大な改善を要する。